

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【公開番号】特開2002-125207(P2002-125207A)

【公開日】平成14年4月26日(2002.4.26)

【出願番号】特願2001-221841(P2001-221841)

【国際特許分類】

H 04 N	7/08	(2006.01)
H 04 N	7/081	(2006.01)
H 04 J	3/00	(2006.01)
G 10 L	21/04	(2006.01)
H 04 N	11/00	(2006.01)
H 04 N	11/24	(2006.01)

【F I】

H 04 N	7/08	1 0 1
H 04 J	3/00	M
H 04 J	3/00	S
G 10 L	3/02	A
H 04 N	11/00	

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】信号受信装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 伝送路を介して信号送信装置に接続された、D V I 規格ソースに準拠した信号受信装置において、

第1のデジタルビデオ信号、第1の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び第1の制御信号が多重化された第1の多重信号を伝送する第1のチャンネルと、

第2のデジタルビデオ信号、第2の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び第2の制御信号が多重化された第2の多重信号を伝送する第2のチャンネルと、

第3のデジタルビデオ信号、及び同期信号が多重化された第3の多重信号を伝送する第3のチャンネルと、

を含むチャンネルから信号を受信する受信部と、

上記受信部にて受信した上記第1の制御信号、及び上記第2の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第1の多重信号から、上記第1の時間軸圧縮されたデジタル音声信号を分離するとともに、上記受信部にて受信した上記第1の制御信号、及び上記第2の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第2の多重信号から、上記第2の時間軸圧縮されたデジタル音声信号を分離する分離部と、

を備えたことを特徴とする信号受信装置。

【請求項 2】 上記分離部は、

上記受信部にて受信した上記第1の制御信号、及び上記第2の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第1の多重信号から、上記第1の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び上記第1のデジタルビデオ信号を分離するとともに、上記受信部にて受信した上記第1の制御信号、及び上記第2の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第2の多重信号から、上記第2の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び上記第2のデジタルビデオ信号を分離することを特徴とする請求項1記載の信号受信装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】**【発明の属する技術分野】**

本発明は、信号受信装置に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上記問題点を解消するためになされたもので、映像信号とともに音声信号を伝送できるDVI規格の信号伝送システムを実現可能な信号受信装置を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】**【課題を解決するための手段】**

上記課題を解決するために、本発明の請求項1に記載の信号受信装置は、伝送路を介して信号送信装置に接続された、DVI規格ソースに準拠した信号受信装置において、第1のデジタルビデオ信号、第1の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び第1の制御信号が多重化された第1の多重信号を伝送する第1のチャンネルと、第2のデジタルビデオ信号、第2の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び第2の制御信号が多重化された第2の多重信号を伝送する第2のチャンネルと、第3のデジタルビデオ信号、及び同期信号が多重化された第3の多重信号を伝送する第3のチャンネルと、を含むチャンネルから信号を受信する受信部と、上記受信部にて受信した上記第1の制御信号、及び上記第2の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第1の多重信号から、上記第1の時間軸圧縮されたデジタル音声信号を分離するとともに、上記受信部にて受信した上記第1の制御信号、及び上記第2の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第2の多重信号から、上記第2の時間軸圧縮されたデジタル音声信号を分離する分離部とを、備えた、ことを特徴とするものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の請求項2に記載の信号受信装置は、上記分離部が、上記受信部にて受信した上記第1の制御信号、及び上記第2の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第1の多重信号から、上記第1の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び上記第1のデジタルビデオ信号を分離するとともに、上記受信部にて受信した上記第1の制御信号、及び上記第2の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第2の多重信号から、上記第2の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び上記第2のデジタルビデオ信号を分離することを特徴とするものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

【発明の効果】

本発明の信号送信装置によれば、伝送路を介して信号受信装置に接続された信号送信装置において、第1の信号を時間軸圧縮する時間軸圧縮手段と、第2の信号に基づいて多重制御信号を生成する多重制御信号発生装置と、上記多重制御信号発生装置により生成した多重制御信号を用いて、上記時間軸圧縮された第1の信号と、上記第2の信号と、第3の信号とを多重化し多重信号として出力する信号多重手段と、上記多重信号及び上記多重制御信号を上記信号受信装置に送信する信号送信手段とを、備えたことより、第1、第2、

第3の信号を同一の伝送路で伝送する信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

本発明の信号送信装置によれば、伝送路を介して信号受信装置に接続された信号送信装置において、第1の信号を時間軸圧縮する時間軸圧縮手段と、第2の信号に基づいて多重制御信号を生成する多重制御信号発生装置と、上記多重制御信号発生装置により生成した多重制御信号を用いて、上記時間軸圧縮された第1の信号と、上記第2の信号と、第3の信号とを多重化し多重信号として出力する信号多重手段と、上記多重信号を上記信号受信装置に送信する信号送信手段と、を備えたことにより、多重制御信号を信号受信装置に伝送することなく、第1、第2、第3の信号を同一の伝送路で伝送する信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

本発明の信号送信装置によれば、上記信号送信装置において、上記第1の信号は音声信号であり、上記第2の信号は水平同期信号または垂直同期信号であり、上記第3の信号は映像信号であるようにしたので、映像信号とともに音声信号を伝送できるDVI規格の信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

本発明の信号送信装置によれば、RGBの映像信号をシリアルデータとして伝送するDVI伝送規格の信号送信装置において、上記RGBの映像信号をシリアルデータとして伝送する第1のモードに加え、輝度信号、色差信号、及び音声信号の3つの信号を伝送する第2のモードを有し、上記第1のモードと上記第2のモードを切り替える切り替え手段を備えたことにより、映像信号とともに音声信号を伝送できるDVI規格の信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

本発明の信号受信装置によれば、伝送路を介して信号送信装置に接続された信号受信装置において、上記信号送信装置から、時間軸多重された第1の信号、第2の信号、及び第3の信号が多重化された多重信号を受信する第1の受信手段と、上記信号送信装置から多重制御信号を受信する第2の受信手段と、上記第2の受信手段にて受信した上記多重制御信号を用いて、上記第1の受信手段にて受信した上記多重信号を上記第1、第2の信号に分離する分離手段と、上記分離手段により分離された第1の信号を時間軸伸張する時間軸伸張手段と、を備えたことにより、第1、第2、第3の信号を同一の伝送路で伝送できる信

号伝送システムを実現可能である。

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

本発明の信号受信装置によれば、伝送路を介して信号送信装置に接続された信号受信装置において、上記信号送信装置から、時間軸多重された第1の信号、第2の信号、及び第3の信号が多重化された多重信号を受信する受信手段と、上記多重信号から上記第2の信号を検出する検出手段と、上記検出手段により検出された第2の信号に基づいて多重制御信号を生成する多重制御信号発生手段と、上記多重制御信号を用いて、上記多重信号を上記第1、第2、第3の信号に分離する分離手段と、上記分離手段により分離された上記第1の信号を時間軸伸張する時間軸伸張手段と、を備えたことにより、信号送信装置から多重制御信号を受信することなく、多重信号を分離でき、また、第1、第2、第3の信号を同一の伝送路で受信できる信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0066

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0066】

本発明の信号受信装置によれば、上記信号受信装置において、上記第1の信号は音声信号であり、上記第2の信号は水平同期信号または垂直同期信号であり、上記第3の信号は映像信号であるようにしたので、映像信号とともに音声信号を伝送できるDVI規格の信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0067】

本発明の信号受信装置によれば、RGBの映像信号をシリアルデータとして受信するDVI伝送規格の信号受信装置において、上記RGBの映像信号をシリアルデータとして受信する第1のモードに加え、輝度信号、色差信号、及び音声信号の3つの信号を受信する第2のモードを有し、上記第1のモードと上記第2のモードを切り替える切り替え手段を備えたことにより、映像信号とともに音声信号を伝送できるDVI規格の信号伝送システムを実現可能である。